

舛添都知事の税金と政治資金の公私混同・私的流用について、その全容  
と政治的・道義的責任を明らかにすることを求める意見書

舛添都知事の税金や政治資金の公私混同の使い方が次々と明らかになっています。知事は、6月6日の記者会見で、政治資金を私的に流用したとの疑惑について、自身が第三者に依頼した調査結果を公表しました。調査を担った弁護士は、「公私混同」との指摘があった宿泊や会食など20件について、「不適切だが違法ではない」としました。

しかし、この調査結果でさえ舛添都知事自身の政治的・道義的責任があることは明らかです。

圧倒的多数の都民は、知事みずからが税金と政治資金の不適切な使用についての全容を明らかにし、政治家としての政治的、道義的責任をとることを求めています。

よって、東大和市議会は、舛添都知事に対し、税金と政治資金の問題について都民への説明責任を果たすこと、政治家としての政治的、道義的責任を明らかにすることを求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(議決日) 平成28年6月17日

(送付日) 平成28年6月17日

(送付先) 東京都知事